

関東圏支部が設立します



東北工業大学同窓会 会長 秋元 俊通 (あきもと としみち) 土木工学科卒業 (5回生·菊地研究室) 1975年

在 株式会社 秋元技術コンサルタンツ 代表取締役

土地家屋調査士 秋元俊通事務所 所長 東北工業大学理事・評議員

近年の異常気象、特に今夏の高温は異常でしたが、 会員の皆様はお元気でご活躍のこととお慶び申し上 げます。日頃より、東北工業大学並びに当会にお寄 せいただいておりますご理解とご支援に心より感謝 申し上げます。

コロナウイルス感染症も5類感染症移行に伴い、 同窓会活動も元に戻りつつあります。今年度のハイ ライトは、何と言っても懸案だった関東圏支部の設 立*でしょう。支部圏が広いということもあります が、卒業生の約半数が所属いたしておりますので、 支部の発会によりネットワークが更に充実してまい るものと期待しております。

一昨年の山形県支部の発会、青森・新潟支部の活 動も再開いたしましたし、その他北海道支部および 北上・いわきの各地域支部の活動にも期待いたして おります。懸案は秋田県支部の発会および職域支部 の活動の低迷ですが、秋田県支部に関しては大学の 円卓会議への共催などをとおして支援してまいり、 職域支部に関しては活動再開および新支部の設立を 働きかけてまいる所存でおります。

今年も、10月14日(土)大学祭の当日、新たに 建設された校舎とこれから解体される皆様に馴染み 深い校舎をご覧いただけるホームカミングデイを企 画いたしておりますので、どうぞ八木山キャンパス に足をお運びください。同時に各県及び地域支部と の情報交換会を催し、その後、総会を開催いたし、 大きな支障がなければ4年ぶりの懇親会を開催いた す予定でおります。皆様の奮ってのご参加をお待ち いたしております。

当同窓会の大きな活動主旨でもあります「大学へ の協力 | では、大学の活動計画 TOHTECH2023 募 金活動について積極的に支援しておりますが、募金 目標2億円に対し現在1億4千4百万円と未だ目標 の72%で、さらに応募同窓会々員は337件と低調 です。募金期限が来年3月ですので、諸物価高騰の 折、誠に恐縮ですが、皆様のなお一層のご協力をお 願いする次第です。

末文になりましたが、コロナウイルス感染症は無 くなったわけではございませんし、インフルエンザ 等の新たな感染症や異常気象下での熱中症等も流 行っておりますので、ご健康にはくれぐれもお気を つけられて今後益々のご活躍をなされんことを祈念 して会報「工大人」発行の挨拶とさせていただきま す。

※同窓会関東圏支部の申込方法は、6ページに記載 しております。



関東圏支部会設立発起人会 (令和5年7月9日/東京ガーデンパレス)



青森県の企業紹介 (令和5年6月4日)



工大祭実行委員会との情報交換会 (令和5年7月11日/八木山キャンパス1号館)

新しいスローガン 「未来のエスキースを描く。|



^{東北工業大学 学長} **渡邉 浩文**(わたなべ ひろのり)氏

1993年 3 月 1998年10月 2008年 4 月 2014年 4 月 2016年 4 月 2021年 4 月

早稲田大学大学院 博士課程 修了 東北工業大学工学部 建築学科 講師 東北工業大学工学部 建築学科 教授 東北工業大学工学部 工学部長 東北工業大学 副学長 東北工業大学 學長

同窓会の皆さま、平素より様々にご高配を賜り心より御礼申し上げます。

大学では、今年度からコロナ禍前の運営すなわち 基本的に対面授業とし、クラブ・サークル活動等も 特別の制限は課さない、マスクの着用有無も自主性 に任せる運営としております。とは言え、学生や教 職員の多くはマスクを着用していたり、消毒液や除 菌シートを学内各所に設置継続していたりと、それ ぞれが感染リスク管理を行っておるところです。

せっかくの機会ですので、大学の近況をご紹介いたします。この四月より新しいスローガン「未来のエスキースを描く。」を制定いたしました。「エスキースとは、試行錯誤しながらもモノやカタチを探するです。多様な価値観が存在し正解が一つではなり良いをの社会で、真面目に誠実に、未来のよりないらの社会で、垣根を超えたつながりのなかで、失いくという想いを、新たなスローガンに表しました。東北工業大学の学生・教職員の、社会に向けただきたくお願い致します。

魅力ある教育プログラムの一層の創出にも努めています。まず2020年度に建築学部を開設し、今年度で完成年度を迎えます。次年度には大学院建築学研究科の開設を申請中です。工学部については、例えば電気電子工学と土木工学との学際領域に位置する災害対応ロボティックスを学ぶような「分野横断プログラム」を多数開設するとともに、現在の4学科を4課程に移行させることを構想しています。ラ

イフデザイン学部についても、3つの学科の連携を深める副専攻プログラムを構想しています。本学の教育の特徴は、「高度の技術者を養成する」と建学の精神に明記するように、「何を学んだのか」が明確なところにありますので、伝統ある堅実な専門教育を基盤としつつも、意欲と能力のある学生が関連他分野を体系的に学べるような、新しい教育プログラムを構想している訳です。もしかしたら同窓会の皆さまのリスキリングにもお役に立てるのかもしれないと、期待しています。

10月14・15の両日に開催される大学祭では、同 窓会のホームカミングデイも同時開催されます。 岩崎俊一名誉理事長の垂直磁気記録方式が IEEE Milestone 認定を受けられ、その記念銘板の除幕式 もこの期間に開催する予定です。新棟2期工事を念 頭とした、八木山キャンパスの教員室・研究室等の 移転作業が始まっておりまして、次年度2024年度 には5号館の解体工事に着手する計画です。1978 年の宮城県沖地震、2011年の東日本大震災を乗り 越えた八木山キャンパス5号館とも、ついにお別れ となります。是非、解体前に同窓生の皆さまにご覧 いただきたいと考えております。TOHTECH2023 募金事業も最終年度となります。大学では募金額以 上に募金件数すなわち同窓会の皆さまとの繋がりの 再構築の契機として期待しているところです。是非 お近くの同窓生にもお声掛けいただければと存じま

様々な変化が速く大きい現代にあって、これから の高度技術者を養成すべく東北工業大学は不断の努力を傾注しております。引き続き、ご支援いただき たくお願い申し上げます。



実験・教育棟「Tech-Lab(てくらぼ)」



「新しいスローガン」八木山キャンパス 1 号館

2025年度 改組に向けて



東北工業大学 副学長 小林 1961年 1985年 1991年 2000年

正樹 (こばやしまさき) 氏 長野県生まれ 東北大学工学部電気工学科卒業 新技術開発事業団(現科学技術振興機構) 山形県テクノポリス財団、 (株)生体光情報研究所を経て 東北工業大学工学和電子工学科助教授 東北工業大学工学部電子工学科助教授

同窓会の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支 援を賜り厚く御礼申し上げます。コロナ禍も落ち着 きキャンパスには通常の大学の日常が戻りました。 コロナによる制約下にあったこの3年間は、教育を 継続するための様々な工夫と取り組みが模索され、 まさに工大のレジリエンスが試されました。オンラ イン授業の突然の導入が求められた2020年度、教 員も職員も手探りの状態でしたが、遠隔授業の中で いかに学生とのコミュニケーションをとりながら授 業運営を進めるのか、学びへのモチベーションをど のようにして繋ぎ止め引き出すか、教員同士も情報 共有や意見交換をしながら、教員と職員の協働によ り乗り越えてきました。当初の全面オンライン授業 から、コロナ感染拡大状況に応じた一部対面授業化 などの段階を経て、今年度からは全員がキャンパス に登校しての対面授業に戻りました。様々な状況変 化に対応するため、その過程ではコロナによる欠席 者対応として対面授業の録画・自動配信システムが 導入されました。オンライン授業が始まって以来、 学生の声や意見に常に耳を傾けてきた中で、あらか じめ録画された授業動画を視聴するオンデマンド型 オンライン授業のもつ、繰返し視聴できるという利 点がたびたび指摘され、その教育効果の新たな可能 性に気づかされました。本学ではこのオンライン授 業の利点を対面授業でも実現すべく、対面授業の自 動録画システムをほぼすべての教室に拡充し、Web による授業支援ツール (LMS: ラーニングマネジメ ントシステム)上で復習用教材として毎回の授業動 画を提供しています。多くの学生が、対面授業であ りながらオンライン授業の利点を享受できるシステ ムとして広く活用しており、コロナ禍での経験を本 学に相応しい ICT (情報通信技術) 活用教育として 発展させることができました。

さて、本学では2025年度から工学部を「課程制」 に改組予定です。現在工学部は、電気電子工学科、 情報通信工学科、都市マネジメント学科、環境応用 化学科の4学科で構成されていますが、それぞれ が基盤とする専門分野はそのままに、社会の変化に より柔軟に対応できる人材の養成を目的として、分 野横断的な学びを促進する組織に改組します。これ は理工系分野における「課程制」と呼ばれる組織体

制であり、従来の専門分野ごとに縦割り組織であっ た「学科」に代えて、その専門を大切にしつつ分野 間の垣根を低くした教育組織として機能します。こ れにより、現在の社会で求められる情報技術などの 工学に共通する基礎の学びをより深化させるととも に、予測が困難な社会変化に柔軟に対応することが できる人材に求められる、教育の幅の広がりに対応 することができます。いま社会は、産業構造のみな らずあらゆる社会システムが変革のただ中にあり、 国は Society 5.0 (超スマート社会) や第4次産業革 命などと位置付けていますが、本学もこのような社 会変化を鋭敏にとらえ、その変化に先駆けて変わり 続ける努力をしています。2020年度には、工学部 から建築学科が建築学部として独立しました。今回 ライフデザイン学部においては、3学科の連携を深 化し学部としてのアイデンティティーを高めるた め、ライフデザイン学部がもつ教育資源を学部全体 で活かして学生に付加価値をつける「副専攻制」を 導入します。とくに経営コミュニケーション学科は、 工業大学にある経済・経営系学科に相応しい学科と してカリキュラムの見直しを行い、名称を「経営デ ザイン学科」に変更します。文系理系という既成の 枠を越えた、産業デザイン学科、生活デザイン学科、 経営デザイン学科の3学科からなるライフデザイン 学の新しい姿を示します。

本学は、地域・社会への貢献という使命を果たす べく、これからも工大らしさを生かしながら社会の 変化に柔軟に対応し変わり続けます。同窓会諸氏に おかれましては、新しい工大を共創する"工大人" として、ますますのご支援をよろしくお願い申し上 げます。



コロナを乗り越え元気に登校する学生たち(八木山キャンパス)

「未来のエスキースを描く。」 大学を目指す



東北工業大学副学長

石井 敏 (いしい さとし) 氏 1969年 米国生まれ 静岡県出身

1969年 米国生まれ 静岡県出身 2001年 東京大学大学院工学系研究科建築学

専攻 博士後期課程修了 2001年 東北工業大学工学部 建築学科 着任

2010年 東北工業大学教授

2014年 東北工業大学建築学科長 2020年 東北工業大学建築学部長兼建築学科長

2021年より現職

同窓会会員皆様におかれましては、日頃から本学の活動に様々なご支援を賜り、心から感謝申し上げます。本学は2023年4月、新たなスローガン「未来のエスキースを描く。」を掲げてスタートを切りました。大学ブランディングの検討を2021年冬からはじめ、2年半をかけてこのスローガンを定めました。2023年4月から5月にかけては仙台駅コンコースに大型フラッグを掲出し、社会に対して新たな歩みを始める本学の姿と意志をご披露しました。

本学の現状の姿とあるべき未来像の間にはどのようなギャップが存在するのか、本学の「強み」や「特色」について、一人ひとりどのように感じているのか、こんな想いを出発点として、各種データの分析や在学生や学長等へのヒアリング、教職員でのワークショップ等を行い、議論を進めました。本学の魅力はどこにあるのか、半世紀の歴史の中で培われてきた本学の独自性は何か、社会における本学の役割とは何か、これらの問いに対するさまざまな思いを凝縮し、短く端的な言葉として明確化したものがブランドビジョンです。

ブランドビジョンは本学の「存在意義」「提供価値」「個性」という3つの概念で構成しました。「未来のエスキースを描く」ためにある大学であることを存在意義とし、本学の提供価値を「ひろく学び、知をつなぐ」場の提供と定め、「Innovative & Imaginative」な個性を持つ大学として歩んで行くことを定めました。

「エスキース」。多くの方には耳慣れない言葉かと思います。フランス語で「下描き、素描」を意味します。その単語に本学なりの意味と思いを込めました。大学、教職員、そして学生一人ひとりの意志、試行錯誤しながらの発想、問い続け、挑戦し続ける姿を重ねています。単に「未来を描く」のではなく、一人ひとりが強い



4/5 から 5/10 まで JR 仙台駅 2 階コンコースに大型フラッグを掲出

意志と主体性を持って物事に向き合い、本学が育んできた自由な風土の中で自分たちのアイディアや構想を形にし、未来の暮らしのあり方を問い続けながら挑戦することこそが本学が大切にしていきたいことである、ということを表現しました。

スローガンやブランディングの定着には年単位の時間を要します。一方でスローガンは掲げて終わりでもなく、また掲げたから定着するものでもありません。まさばエスキース」しながら歩まなければ絵に描いた餅になってしまいます。今後進める諸活動(教育、研究、社会・地域貢献)をいかにこのスローガンにつなげて、意識しながら実行・実践していくかが問われています。一人ひとりが「未来のエスキースを描く東北工業大学です!」と胸を張って言えるように、そして多くの皆様から共感を得られるように取り組んで参ります。

来年2024年度は東北工業大学60周年を迎えます。 ここ仙台に東北工業大学あり、という姿を卒業生の皆様に、そして社会に発信して参ります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いします。

なお、仙台駅に掲げた大型フラッグ (3m×3m) は、八木山キャンパス (1、9、10号館)、長町キャンパス (1、4号館) に掲げてあります。また、大学ロゴも変更されています。ご来学の機会には、是非ご覧下さい。



各種イベント運営時のスローガン入り T シャツの着用



未来のエスキースを描く。

東北工業大学

新しいスローガン入りの大学ロゴ

地域支部の活動

同窓会地域支部と本部との情報・意見交換会を開催

同窓会地域支部と本部との情報・意見交換会を学長、 大学事務局次長の出席のもと下記のとおり開催しました。同窓会本部および事務局から議題について説明し、 意見交換を行いました。

同窓会の各地域支部として北海道、青森県、新潟県、山形県、岩手県(北上)、関東圏から支部役員1~2名の参加いただき、活発な情報交換を行い、特に各支部からは、「コロナ禍での十分活動が出来なかった中での状況や計画」、「会員名簿の把握」、「同窓会会費の未納」などについて報告や意見が出されました。

情報・意見交換会終了後、出席者全員による懇談会を行いました。新型コロナが第5類感染症に位置づけられたこともあり、久しぶりに和らいだ雰囲気で対面での情報交換となりました。

記

日 時:令和5年5月27日(土) 16:00~19:00 場 所:ホテルメトロポリタン仙台 21階ラ・ボーヌ 出席者:大学 渡邉浩文学長、川村弘昭大学事務局次長 地域支部 山口龍彦・奥塚恒一(北海道)、向 井務・工藤孝喜(青森)、動山憲一・吉原一博 (新潟)、松田隆志・石山徳昭(山形)、井出幸 成(関東)、八重樫実・佐藤功(北上)、本部 西條芳郎副会長、佐藤明副会長、中島敏副会長、 今野弘特別顧問、事務局 高橋正行

挨 拶:西條芳郎副会長

議事:

1. 今後の同窓会本部の活動について

- (1) 青森県父母懇談会における地域企業紹介の開催 令和5年6月4日(日)
- (2) 新潟県支部総会への役員派遣 令和5年6月4日(日)
- (3) 同窓会関東圏支部設立に向けた発起人会の開催 令和5年7月9日(日)
- (4) 令和5年度同窓会総会の開催 令和5年10月14日(土)(八木山キャンパス) ※ホームカミングディ・大学見学会開催
- (5) 同窓会関東圏支部設立総会の開催支援令和5年11月26日(日) 11:00~14:30

2. TOHTECH2023 募金事業活動の報告について

標記募金事業の現在の募金状況の報告の後、最終 年度となる今年度の募金事業への協力要請があった。 同事業の推進にかかる委員会開催を予定している。

3. その他

- (1) 同窓会 Web サイトのリニューアル 会員データ変更、会員情報、企業紹介、支部情報 などをリニューアル
- (2) 新潟市研究ブランディング事業円卓会議開催支援

4. 各支部会からの事業報告と事業計画について

(詳細は下記に掲載しております)

https://koudai-dousoukai.net/news/1547

5. 各支部からの質問や提案に対してのコメント

◎同窓会本部事務局から

- ・名簿については、昨年、現住所把握の調査を「工大人」 送付時にハガキを同封して行った
- ・名簿は個人情報の取扱い等で課題が多く発行は難し い、支部会員住所については、支部事務局と情報を 共有したい
- ・同窓会のホームページをリニュアルした。「会員データ変更」では現住所やメールアドレスについても変更が可能であり、活用を期待したい
- ・現在の学生は卒業時に卒業後も使用できるメールアド レスが大学から付与されている
- ・現在は、会費未納な卒業生には「工大人」の発送を行ってないが、今後未納な卒業生が納入しやすくするための検討は必要
- ・本部同窓会総会(併せて工大祭・ホームカミングディ・大学見学会等)に複数人数が参加の場合、本部同窓会から貸し切りバスの借り上げをしたい

◎学長からのコメント

- ・同窓会と後援会や大学との連携は、少子化の中で北日本にある工業大学として発展するためにも重要と考えている
- ・近年注力しているのは、AI、そしてグリーンテクノロジー
- ・この4月より新しいスローガン「未来のエスキースを描く。」を制定。「エスキース」とは素描、素案等を意味するフランス語、未来のエスキースをそれぞれが豊かに描けるよう、そして楽しいキャンパスライフを送ることができるよう、新たな東北工業大学を創っていきたい
- ・大学創設 60 周年(2024年)の記念事業は、同窓会と も連携して進めたいなどの発言があった



地域支部との情報交換

令和5年度青森父母懇談会において「青森県の企業紹介」を開催

令和5年度青森父母懇談会(開催日:令和5年6月4日)において、後援会青森支部総会後に、後援会と同窓会が連携・協力し、「青森県の企業紹介」をはじめて下記のとおり開催いたしました。

記

日時:令和5年6月4日(日)後援会総会終了後

 $13:10 \sim 13:40$

会場:青森県観光物産館アスパム 5階

「青森県の企業紹介」

進行 東北工業大学同窓会 副会長 佐藤 明

- 1 ご挨拶 東北工業大学同窓会 副会長 西條 芳郎
- 2 青森県内の就職状況 東北工業大学建築学部 教授 船木 尚己 (同窓会運営委員長)
- 3 青森県内の企業紹介(同窓会会員企業から3社)①倉橋建設株式会社 取締役社長 倉橋 龍太郎氏②株式会社黄金工務店 常務取締役 黄金崎 翔氏③志田内海株式会社 営業本部長 前田 繁幸氏※資料配布:有限会社 青森地盤研究所
 - ※青森県庁から就職イベント等の周知のため、会場内に相談コーナーを設置

<概要>

地域企業では人材確保が大きな課題となっている中 で、本学同窓会地域支部の会社経営者などから、新規 卒業生は勿論、経験者採用の求人に向けて支援協力の 要望が出されていたところです。

特に青森県と本学は、学生の青森県内への UIJ ターンの促進を目的に、「学生 UIJ ターン就職促進に関する協定」を 2017 年に締結しております。

このような中で、この度、青森県内のご父母の方に 青森県内の企業(同窓会会員が経営する企業から3社) を紹介し、学生の就職状況や地域で活躍している卒業 生などを知っていただき、今後のご子女の就職活動に 寄与することを目的に開催したものです。

船木尚己同窓会運営委員長から「青森県内の就職状況」について、データを基に説明があり、「青森県の企業紹介」では、これからの青森を担う若い会社幹部が登壇し、会社概要や青森で働いている思いなどを紹介しました。

ご父母にとっても身近な内容で、非常に和らいだ雰囲気の中で、短い時間でしたが有意義な時間となりました。今後、他地域での開催においても参考となる会となりました。

当日は、青森県のご父母や後援会青森支部の支部長はじめ役員の皆さん、大学からも学長はじめ教職員の出席がありました。

同窓会関東圏支部会設立総会の開催について

7月に開催いたしました、同窓会関東圏支部会設立発起人会において、関東圏支部会設立総会を下記のとおり開催することになりました。

会員相互の親睦が、これまで以上に図られればと考えております。当日は、学長はじめ多くの教員の方が ご出席の予定です。

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

記

東北工業大学関東圏支部会設立総会及び交流会

日時:令和5年11月26日(日)11時30分から (受付11時から)

会場:東京ガーデンパレス 3階 平安 (お茶の水駅から徒歩5分)

東京都文京区湯島 1-7-5 TEL: 03-3813-6211

会費:5,000円(当日、受付にお願いします)

1. 設立総会(11:30~12:00)

- ・経緯説明
- ・東北工業大学同窓会関東圏支部会会則(案)について
- ・支部会役員(案)について
- ・支部長からの挨拶 (今後の支部活動について等)
- 2. 記念事業 (12:00~13:00)
- (1) 記念講演

(仮称)「工大の思いでと大学に期待すること」 - 現在の仕事のつながりから -

講演者 (株)フォルム 代表取締役社長 松本 有氏 (工業意匠学科 1974 年卒)

(2) 大学の現状

担当副学長から、「新しいブランドスローガン」、「学 部、学科再編構想」、「施設計画」などを紹介予定

- (3) 意見交換
- 3. 交流会(13:00~14:30)

開会挨拶 乾杯挨拶 スピーチ 中締め挨拶 ※出席予定者

- · 榎本 幹名誉教授(同窓会顧問)、舛岡和夫名誉教授 谷津憲司名誉教授、今野 弘名誉教授(特別顧問)、菊 地良覺特命教授
- ・渡邉浩文学長、小林正樹副学長、石井 敏副学長や 主に OB の現職教員の方々と同窓会本部役員

○出席の申し込みが必要です

同窓会事務局に FAX、E-mail のいずれかの方法で、11 月 10 日(金)までに、ご連絡ください。

東北工業大学同窓会事務局

mail: dousoukai@tohtech.ac.jp FAX: 022-305-3337

支部活動等報告

工大杜の会(土木系学科同窓会)

令和5年度工大杜の会定例役員会報告

令和5年6月24日(土)に東北工業大学八木山キャンパス133教室において、令和5年度工大杜の会定例役員会を対面・オンライン併用にて開催しました(役員総数43名に対し、過半数を超える41名(対面10名、オンライン1名、委任30名)により成立)。会議では、令和4年度活動報告・会計監査および令和5年度活動計画・予算案等について審議の上、承認されました。

また、コロナ禍により令和 2 年度より中止を余儀なくされておりました「工大杜の会の集い」を 4 年ぶりに開催 (令 和 5 年 10 月 21 日) することを決定しました(詳細については、工大杜の会 HP の令和 5 年度(第 17 回)東北工業大学「工大杜の会の集い」案内をご覧ください)。

閉会に当たり「令和5年度の活動」及び「工大杜の会の集い」の成功に向け、想いを一つにしました。

- ※「工大杜の会」については、東北工業大学同窓会HP内より「土木系学科同窓会杜の会」のバナーにアクセスし、 これまでの活動内容を是非ご覧下さい。
- ※工大社の会新規役員募集:土木系同窓生なら、どなたでも役員として活動に参加できます。

問合せ先: h69241@yahoo.co.jp 幹事長 西野

令和5年度「工大杜の会の集い」のご案内

工大杜の会は、上記のとおり、令和5年6月24日(土)に行われた工大杜の会定例役員会において、第17回を数える『工大杜の会の集い』を4年ぶりに開催することに決定いたしました。

参加をご希望の方は、東北工業大学同窓会 HP内の工大杜の会ページをご確認いただき、「令和5年度 東北工業大学『工大杜の会の集い』のご案内」に必要事項をお書きの上、メールまたはFAXにてご連絡をお願いいたします。

日時: 令和5年 10月 21日 (土) 会場: テンザホテル・仙台ステーション 〒 983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-6-28

会費: 7,000円

21 日(土) 山台ステーション 宮城野区榴岡 4-6-28





同窓会 HP(杜の会): https://koudai-dousoukai.net/morinokai/メールでの申込先: h69241@yahoo.co.jp 幹事長 西野

メールでのお申し込みの場合は下記を記載のうえ、メールをお送りください。

- ・氏名
- ・卒業年度
- ・回生
- ・出身研究室
- ・住所
- ・連絡先
- ・所属 (会社等)
- ・メールアドレス



※ FAX でのお申込みについては同窓会 HP をご確認ください。

※画像は令和元年度 工大杜の会の集いの様子

尚建会(建築学科同窓会)

尚建会定時総会

2023年6月24日(土)に東北工業大学一番町ロビーにて定時総会が行われました。2022年度の事業報告および決算報告、2023年度事業計画および予算案、2023年度役員の改選について承認されました。



尚建会ニュース

卒業生、在学生、学科を繋ぐ媒体として、昨年10月にvol.1を発行、今年3月にはvol.2を発行いたしました。現在、vol.3の編集を行っております。引き続き、尚建会や在学生の活動、イベント案内など発信していきます。







建築を学び始めるあなたに贈る 1冊の本プロジェクト(PPB)

昨年度より、建築学科の入学生に対して卒業生の蔵書の中から本をプレゼントする企画を行っています。今年度も、5月26日(金)に新入生に対して贈呈を行いました。贈呈する本の中には卒業生から新入生に対しメッセージが添付され、本を受け取った学生が御礼のメールを送ることで在学生と卒業生のつながりをつくるきっかけとなります。



尚建会サロン

昨年10月には志田正男名誉教授、今年5月には沼野夏生名誉教授をお招きして、尚建会サロンを開催しました。卒業生、在学生、教職員の多くの参加のなか、和やかな雰囲気で開催されました。この10月には、第4回の尚建会サロンを企画しています。







このほか、建築プロフェッショナル論イントーク、東北を 支える建設企業交流会(建築学科と共催)」、卒業設計優 秀者、学業成績優秀者に対する尚建会賞の授与、懇親ゴ ルフなど、昨年度から行ってきた事業を引き続き行うととも に、新規イベントの開催を企画してまいります。

詳細等につきましては、尚建会ニュースおよび同窓会 Web サイト尚建会ページにてお知らせいたしますので、ぜ ひご覧ください。

掛け替えのない 学生生活

東北工業大学 同窓会副会長 中島 敏 (なかじま さとし) 氏

1979年3月 工業意匠学科卒(9回生)

1985年 大山プロー工業㈱ (現アイリスオーヤマ㈱入社)

2004年12月 アイリスオーヤマ(株) 退社 2005年4月 相ジーマデザイン設立

2014年4月 東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科教授

2022年3月 同上 定年退職

2022年 4 月 ダイン代表取締役社長



コロナが第五類感染症となり、マスク着用も個人の意思となりました今日この頃でございますが、皆様におかれましては、充実した社会生活、そして「在学生の皆さんには学生生活を送っていることと思いますが、いかがでしょうか。」私事でございますが、2022年の3月末でライフデザイン学部生活デザイン学科を定年退職して早1年半となります。在職期間は8年間と短かったものの、大変充実した時間を過すことが出来まして、中島研究室から74名の学生を卒業させることが出来ました。思い起こせば、私の教えがどこまで生かされているかは、いささか疑問は残りますが、きっとその当時の経験は年月を重ねるたびに深くなるものと思いに馳せております。

また、コロナ禍での、オンライン授業は、私を含め皆様に置かれましても、破天荒な出来事でとても大変な事でしたが、このような経験は、現代のIT化の社会に置きましては、大変貴重で、特に社会に出てからの、応用力に大きく寄与していると思います。そして今後の様々な変動

に耐えるべく大きな経験になったとも思います。目まぐるしい変化対応の時代で大変ですが「変化はチャンス」を心得。ぜひ、がんばり抜いてください。

更に、先日「工大祭実行委員会」の学生の皆様と同窓会幹部との懇談会(計15名程度の出席)が行われました。初めての事でもあり、意外とお互いの活動内容を知らないところが有りましたが、この交流によりお互い理解できたところも多数ございました。また今後、定期的に継続して行いたいとの献身的な意見がありましたし、そこでの対談で特に「卒業してから数年経つと同窓会のありがたみが判る」との意見が多く出まして、私の経験からも、卒業後の仕事上の繋がりや転職など様々な場面で多くのメリットが有ることを改めて周知したようでございました。最後に今後とも、東北工業大学同窓会を活用して頂き、さらなる高みを目指して頂きたいと改めて感じました。残暑厳しい折、皆様の御健勝と益々の御活躍をこころより願う次第です。

課外活動紹介

第46回千葉工業大学硬式野球部定期戦

第46回千葉工業大学硬式野球部定期戦が8月14日(月)に本学長町キャンパス野球場にて行われました。台風の接近に伴い、悪天候が心配されましたが、無事に試合を行うことができました。8-3で敗戦となりましたが、コロナ禍を経て四年ぶりの開催となり、選手同士の親交を深めるなど実り多き定期戦となりました。

期 日:令和5年8月14日(月)

場 所:東北工業大学長町キャンパス野球場結 果:千葉工業大学 8-3 東北工業大学 参加者:伊藤部長、小幡総監督、目黒監督、

荻原ヘッドコーチ、阿部コーチ、

須藤コーチ、部員69名











第38回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦

8月22日(火)~23日(水)に、第38回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦を

この総合定期戦は、両大学の歴史と伝統を背景にしたスポーツ競技を通じて絆を深める貴重な イベントです。

仙台での開催は2019年以来であり、プロバスケットボールチーム仙台89ersの本拠地である「ゼ ビオアリーナ仙台」で開会式とオープニングゲームを行いました。

定期戦期間中は連日の猛暑でしたが、両校の選手とスタッフの協力によりこまめな水分補給と休 憩を挟みながら大会を安全に終えることができました。また、今大会から女子バレーボールが新競 技として加わり、12競技13種目となりました。

今年度は北海道科学大学が9勝4敗の成績で総合優勝しました。

期日 2023 年8月22日(火)・23日(水)

会場 東北工業大学八木山キャンパス・長町キャンパス、ゼビオアリーナ仙台、泉総合運動場



総合定期戦特設サイト

試合結果(種目別)

サッカー 北海道科学大学 0-5 東北工業大学《WIN》 0-3 東北工業大学《WIN》 ソフトテニス 北海道科学大学 硬式テニス 北海道科学大学 3-1 東北工業大学 バスケットボール 北海道科学大学 71-65 東北工業大学 北海道科学大学 5-4 東北工業大学《WIN》 剣道 北海道科学大学 0-3 東北工業大学《WIN》 柔道 アメリカンフットボール 北海道科学大学 12-0 東北工業大学 男子バレーボール 北海道科学大学 3-2 東北工業大学 女子バレーボール 北海道科学大学 1-2 東北工業大学《WIN》 ハンドボール 北海道科学大学 26-22 東北工業大学 北海道科学大学 73-40 東北工業大学 弓道 バドミントン 北海道科学大学 8-2 東北工業大学 卓球 北海道科学大学 6-1 東北工業大学

































東北工業大学吹奏楽部と宮城学院大学ウインドオーケストラ部による 「27th Joint Concert I 開催

本学吹奏楽部と宮城学院女子大学ウインドオーケ ストラ部による「27 th Joint concert」が、9月18 日 (月)、東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」 にて開催されました。

このジョイントコンサートは、1986年にスター トし、その後2010年(第25回)まで毎年開催され ていましたが、2011年に東日本大震災の影響で中 止となった後、実施されていませんでした。昨年、 12年ぶりに開催したことをきかっけに、今年度も 盛大に行われました。

なお、昨年度、本同窓会よりクラブ活動支援とし

て、吹奏楽部に対しアルトサックス、トロンボーン、 フルートの物品支援を行っているほか、ジョイント コンサートの協賛をさせていただいております。



※画像は昨年度行われたジョイントコンサートの様子です。

TOHTECH2023 募金 〜協創する知の杜をめざして〜 現状報告とご支援のお願い

2022年9月に竣工を迎えた新棟1期「実験・教育棟」(Tech-Lab(てくらぼ))は、令和4年度後期授業から供用を開始しました。これまで学科ごとの棟に分散していた実験設備(装置・機器)を集約した施設となっており、学問分野を超えた知識と人の交流促進が期待されます。

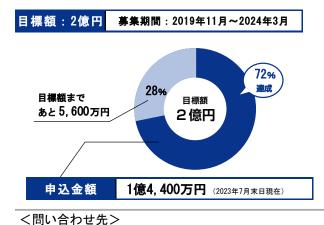
2023年4月からは既存建物の改修に着手しており、新棟2期建設へと八木山キャンパス整備計画を進めていくこととなります。

本計画を実現するため、本学としても自助努力により計画を進めてまいりましたが、一連の事業には多額の資金を要するため、引き続き同窓生の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。

寄付金募集要項

- ■募金名称 TOHTECH2023 募金~協創する知の杜をめざして~
- ■募金目的 「学部学科改組再編」及び「八木山キャンパス整備基本計画」等の事業資金に充当
- ■総事業費 100 億円 (学部学科改組再編に係る教育設備の経費、新棟 1 期・2 期 建設経費及び既存建物・キャンパスの整備費 等を含む)
- ■募金目標 2 億円
- ■募金期限 2024年3月31日
- ■募金対象 同窓生、学生父母、本学役員、教職員、団体・法人企業及び本学の教育への賛同者
- ■募金金額 口数・金額にかかわらずありがたくお受けいたします
- ■申込方法 (1)インターネットによる申し込み (2)郵便振替・銀行振込による申し込み
- ■顕 彰 (1)ご芳名禄への掲載 (2)銘板への掲載
- ■そ の 他 この寄付金は、個人様、法人様ともに税制上の優遇措置を受けることができます

募金申込状況



2019 年 11 月から募集を開始した 「TOHTECH2023 募金」は 2 億円の目標に対し、 約1億4,400万円(2023年7月末日現在)の ご支援をいただいております。

(寄付者内訳)

個人様26%団体様49%法人様25%576件4団体59法人3,800万円7,000万円3,600万円

個人様のうち、同窓生からのご支援 337 件

学校法人東北工業大学 財務課(募金担当)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 Tel. 022-305-3505/Fax. 022-305-3362

Mail. zaimu@tohtech.ac.jp

こちらより本学寄付金募集ページにお進みいただけます。 https://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction_aid/index.html









企業の人事担当から見た大学イメージ調査 ==





8 年連続定員充足 収容定員充足率 **12**%









私大平均4.2

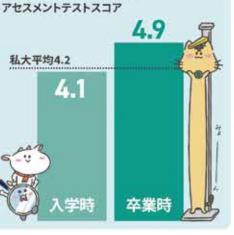
4.1

学時















夏休み+冬休み



コマ/1日

仙台城南高校だより

硬式野球部 準優勝

7月7日(金)に開幕した、第105回全国高等学校野球選手権記念宮城大会において、硬式野球部が1962年の創部以来、初めて決勝進出し、見事に準優勝を飾りました。

第2シード仙台商業との2回戦を延長十回タイブレーク逆転サヨナラで制すと、続く3回戦は昨年準優勝の聖和学園に六回コールド勝ち。準々決勝の古川学園戦、準決勝の利府戦はいずれも2-1の接戦をものにしました。決勝は強豪仙台育英に敗れはしましたが、シード校を次々撃破していく選手たちの熱い戦いぶりは多くの人々に感動を与えました。





7月29日(土)には報告会が行われ、法人や大学関係者、後援会、同窓会、協学会などの関係の方々にお越しいただき、保護者や在校生も参加しました。樋口龍雄理事長からは創部以来の偉業達成に対しねぎらいとお褒めの言葉をいただきました。また、選手を代表して岡村主将が「実力で劣る私たちは、挨拶や全力疾走など当たり前のことでは100点を取ろうと心がけてやってきたからこそ、最後に野球の神様がご褒美をくれたのだと思います。新チームでは私たちが叶えられなかった甲子園出場を勝ち取ってください。暑い中での皆さまの応援ありがとうございました。」と挨拶しました。

💦 3回戦 : 石巻市民球場

 聖和学園
 1
 0
 0
 0
 0
 0
 1

 仙台城南
 2
 0
 5
 0
 1
 3×
 11

💦 準決勝 : 楽天モバイルパーク宮城

利 府 0 0 0 0 0 1 0 0 0 1 仙台城南 0 1 0 0 0 1 0 0 × 2 💦 2回戦 : 仙台市民球場

 仙台商業
 2
 0
 0
 0
 0
 1
 1
 0
 2
 6

 仙台城南
 0
 0
 2
 0
 0
 2
 0
 0
 3×
 7

 ※延長10回タイプレーク

準々決勝 : 石巻市民球場

古川学園 0 1 0 0 0 0 0 0 1 仙台城南 0 0 0 0 0 1 × 2

💦 決勝 : 楽天モバイルパーク宮城

 仙台育英
 0
 0
 0
 4
 5
 3
 1
 0
 5
 18

 仙台城南
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0



文部科学省 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業 拠点校採択!

SDGsの達成を牽引するイノベーティブなグローバル人材育成のリーディング・プロジェクトとして、社会課題の解決に向けた探究的な学びや大学の学びの先取り履修等を通じた高大接続改革を推進することを目的とした文部科学省による『WWLコンソーシアム構築支援事業』に、本校が東北の国公私立高校で初の拠点校として認定されました。

「未来東北のサステナブルと DX を牽引する人材 育成ネットワーク」と題し、高校や国の枠を超えて 高校生に高度な学びを提供する仕組みの形成を目指 します。

具体的には、生徒が主体となり、国内外の大学、 企業、国際機関と協働し、グローバルな社会課題の 解決に向けた探究的な学びを展開します。

世界が注目する GCP (グローバル・コンピテンス・プログラム) 東北で初めて導入

令和5年度より全学科で学校設定科目「GP」を 導入しました。複雑多様で変化を見通せないこれか らの未来社会生き抜くために必要なグローバルマイ

ンドセットを目 指します。

授業は外国人 教員とのチーム ティーチングと オールイング リッシュで展開 されます。



同窓会からのお知らせ

東北工業大学同窓会 第39回定時総会について 開催日: 令和5年10月14日(土)

今年度の同窓会定時総会は、下記により開催いたします。当日は同窓会総会の他、工大祭、ホームカミングデイ、新棟見学会及び懇親会などの行事を予定しております。併せて皆さまのご出席をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

なお、**新棟見学会及び懇親会につきましては、参加人数を把握するため、同窓会事務局迄、事前に参加申し込みをお願いいたします**。お忙しい中、お手数をお掛けしますがよろしくお願い申し上げます。

※新型コロナ感染拡大により、スケジュール変更の場合があります。同窓会 Web サイトなどの情報をご確認ください。

当日のスケジュール

- 1) 10:00 ~ 工大祭
- 2) 13:00 ~ 13:30 ホームカミングデイ(会場:八木山キャンパス1号館2階) 同窓生にとって、恩師や在学生との貴重な交流の場として、また、最近の工大を知っていただくよい機会と 考えております。
- 3) 14:00 ~ 15:00 **同窓会第39回定時総会**(会場:八木山キャンパス1号館2階)
 - (1) 令和4年度会務・事業報告について
 - (2) 令和4年度決算報告・監査報告について
 - (3) 令和5年度事業計画(案)について
 - (4) 令和5年度予算(案)について
- 4) 15:00 ~ 16:00 新棟「実験·教育棟」見学会

申込が必要です。同窓会事務局に FAX、E-mail のいずれかの方法で、10月6日(金)までに、 で連絡ください。

東北工業大学同窓会事務局 mail:dousoukai@tohtech.ac.jp

FAX: 022-305-3337

5) 17:00~18:30 懇親会(会場:ホテルメトロポリタン仙台)

申込が必要です。同窓会事務局に FAX、E-mail のいずれかの方法で、10月6日(金)までに、

ご連絡ください。

会費:5,000円(当日会場でお願いいたします)

東北工業大学同窓会事務局 mail:dousoukai@tohtech.ac.jp

FAX: 022-305-3337

第48回工大祭『Contrast』

18th Itas

第48 回丁大祭のテーマは『Contrast』です。

楽しいだけではない日々を過ごす皆さんをこの日だけは『明るく』照らしたいという、想いを込めました。 昨年、コロナ禍を乗り越え、本格的に復活した工大祭をさらにパワーアップして皆さんにお届けしたいと思います。

10月14日(土)は「カミナリ」「カカロニ」によるお笑いライブ、10月15日(日)は「Mr. ふぉるて」によるコンサートなどたくさんの企画を用意していますので是非お越しください!!

詳細については、第48回工大祭Webサイトにてお知らせいたします。

